

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和8年2月5日（木） 13：40～15：40
- 3 開催場所 東濃高等学校 図書室
会議開催後、委員による授業参観（2年次地域探究類型「学習成果中間報告会」）を実施した。
- 4 参加者
- | | | |
|-------|--------|----------------------------|
| 会長 | 筒井 幹次 | 御嵩町副町長 |
| 副会長 | 佐口 清道 | 会社役員 |
| 委員 | 奥村 恒也 | 御嵩町教育長 |
| | 各務 眞弓 | NPO 法人可児市国際交流協会
理事・事務局長 |
| 学校側 | 田中 静子 | 地域代表 |
| | 山口 健 | 保険代理店 |
| | 矢島 幹也 | 一般社団法人 たらす 代表理事 |
| | 山田 泰平 | 東海化成工業(株)業務部人事総務課長 |
| | 梅内 望 | P T A副会長 |
| | 遠藤 弘美 | P T A副会長 |
| | 二村 文敏 | 校長 |
| | 野田 幹也 | 事務長 |
| | 松久 潤 | 教頭 |
| | 佐合 ゆかり | 教務主任 |
| 前田 知美 | 生徒指導主事 | |

5 会議の概要（協議事項）

(1) 令和7年度学校教育目標及び重点目標について（年度末評価）

- ・教育指導の重点及び学校運営計画（教頭より）
- ・各分掌より（アドバンス部【教務・進路指導】、生徒指導部）

意見1：スクールポリシーの表現をわかりやすくするという方針に好感がもてる。特に、「自己肯定感」「地域や外部との協働」「生活習慣」「ルールやマナー」「他者を尊重」「自己の進路実現」といったところがポイントになるだろう。指標についても、数値で示されているのでとてもわかりやすい。

意見2：ボランティア活動（地域清掃活動）の参加が良好であったことについては、町として、とても感謝している。

質問1：学習指導の評価にある「ふるさと教育の推進」や「外部人材の活用」について、具体的にどのようなことを行ったか。

⇒御嵩町内の幼稚園・保育園・小学校・中学校との交流（英語授業ボランティアや日本語交流）、キャリア教育プログラム（1年生）、御嵩町企業見学（2年生）、御嵩町の行事（音楽祭・防災アカデミー等）への参加、町長をむかえてのプレゼンテーションなどを行ってきた。防災アカデミーへの参加については、NHKのアナウンサーの方を講師にむかえて防災教室を行うことにも繋がった。また、フィリピン領事館と外国につながる卒業生によるセミナーを初めて開催

することもできた。引き続き、自ら主体者となる学びに加えて、多くの生徒が参加できる体験型教育活動の充実を図りたい。

質問 2：来年度からタブレット端末は生徒自身で購入・管理することになるのか。スマートフォンの使用などはどうなるのか。

⇒来年度の 1 年生から自費で購入・管理することになる。スマートフォンについて、今はスマホ回収ボックスを活用しているが、次年度からは全学年とも回収ボックスをなくし、自己管理ができるようにしていきたい。

質問 3：英語を生かした進路決定について、具体的にはどのような実績があるか。

⇒東海圏の外国語大学への進学や検定を生かして合格した実績がある。就職では、英語で対応することができることを PR して内定をいただくこともある。

(2) 意見交流

意見 1：生徒像は変化してきているが、先生方が元気であれば生徒も元気になってくると思う。時間外勤務についても、意識をしていることが数値に現れている。

意見 2：高校生が小・中学校の教育活動にボランティアとして関わってくれたことが、小中学生にとっては高校生に憧れを持つ場にもなり、町として感謝している。また、高校生が町内の行事に多く参加してくれたこともありがたかった。

意見 3：アンケートにあった「入学してよかった」という満足度で 90% 近くの生徒から高評価を得ていることは、学校に対する誇りに繋がっていると思う。

意見 4：授業への評価が高いことは、先生方の努力の成果だと考えられる。学校生活において、高校生にとっては授業が充実することが高校生活の要だと思う。満足度を含めた学校としての PR をどんどんしてほしい。

意見 5：タブレット端末の購入について、なかなか難しいことだと思う。授業での活用を含めて、どの生徒も同じ条件で学べる環境づくりが課題だと思う。

意見 6：地域活動や語学を通しての活動が盛んだと改めて感じた。語学が得意な生徒が多いが、言語を身に付けることは将来への選択肢が増えることに繋がる。外国につながる生徒のボランティアについて、自己肯定感を感じる機会や進路実現に向けてのアピールにもなるので、ボランティアは続けることと、繋げていくことが大切だと思う。テスト勉強をする姿や進路実績を見させていただき、外国につながる生徒も頑張っている様子がよくわかった。

意見 7：卒業生の皆さんが会いに来てくれて、高校時代の楽しかった思い出の話をしてくれることがあり、とても微笑ましく感じた。

意見 8：英語の授業に力を入れるという方針について、進路に生かすことにも繋がるので、本校の強みになっていくと思う。今後、外国につながる生徒だけでなく、英語を学びたい生徒に選んでもらえる学校になっていくとよい。

意見 9：学校が変化していく時期だと感じた。変化は挑戦であり、その変化に対する評価を受けて、さらに変化し続けることが大切だと思う。生徒の「こういう大人になりたい」というロールモデルを見せていくことについて、キャリア教育や地域活動、さらに卒業生を招いた話なども活用できると思う。

意見 10：進路実績にも学校の取り組みの成果が出ており、ここ数年、外国につながる生徒が多くなってきたことを生かしていると感じる。今後、本校の特色や強みを内外にどうアピールしていくかが課題になるだろう。

意見 11：挨拶運動やボランティアに参加する生徒が増えており、今後も続けてほしい。

意見 12：外国につながる生徒と日本人の交流がさらに増えると成果もあがるだろう。

(3) 授業参観（2 年次地域探究類型「学習成果中間報告会」）に対するご高評

- ・本校の前身である東濃中学が地元の人々の強い思いで創設され、また同じ頃に鉄道がその役割を果たしながら、発達していったことに加えて、鉄道を整備するためには、その時々の人達の強い思いと熱意がなければできなかったことが伝わった。

- ・難しい内容についても、学びを進め、自分のものとして、理解され、自分の言葉で発表される姿に感動した。さらに自身の感想や思いを交えて、よくまとめられていた。
- ・「歴史を学ぶ」「歴史を繋ぐ」という意味で、今日の皆さんの取り組みは、歴史を受けとめ、この先の未来に繋ぐ大切な役割を果たしてくれていると思う。
- ・とても面白い内容でとても勉強になった。特に、鉄道ができた成り行きや歴史について、当時の車や人々の考えに想いをはせると、とてもロマンを感じるし、先人たちが守ってくれた資産を残していきたいと思った。
- ・過去からの鉄道の歴史、地域の発展が詳しく探求されており素晴らしい発表だった。
- ・各方面で話したり、意見を出したりすることで更なる成果に繋がっていくと感じた。
- ・なんとなくは知っていた本校とこの地域の鉄道（名鉄広見線）の歴史を詳しく時代背景なども加えての発表はとても興味深い内容だった。
- ・質疑応答で見せた、自分の言葉で必死に答えようとする力強さ。そこに、確かに何か芽生えているのを感じた。歴史を未来に生かす。それは、一人ひとりから始まる新しい歴史のスタート。それぞれの中に芽生えた可能性が、健やかに伸びていけるよう、大人が、風よけとなり、支える柱となって、これからも応援し続けたいと思う。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、学校長より、今年度の学校の取り組みに関する成果と課題を報告した。あわせてスクールポリシーについて、そこに込められたキーワードは継承しつつ、わかりやすい表現に変更していくことを提案した。令和7年度の年間反省については、委員より貴重な意見を得て、来年度に向けての方針や改善方策についても賛同が得られた。協議後、2年次地域探究類型の「学習成果中間報告会」を全委員が参観し、報告会では「廣瀬五郎さんの研究をたどり御嵩町の未来を考える」というテーマで、東濃高校と広見線の沿革、加えて修学旅行の歴史（今夏、中山道みたけ館にて企画展として開催）を研究した成果を発表したところ、委員から、「『歴史を学ぶ。歴史を繋ぐ』という意味で、今回の発表は未来につながる大切な取り組みである」という評価を得た。引き続き、地域とのつながりを大切にした実践を積極的に行い、生徒の可能性を信じ抜く強さと温かさを持ち、生徒や保護者、地域の方々との信頼関係を築きながら、生徒の自己肯定感と帰属意識を育てることを軸とした学校運営に努めていきたい。